

第49回 山形県統計大会

～山形県知事あいさつ～

本日このように盛大に統計大会を開催できますことは、ここにお集まりの皆様を始めとする関係者の方々の御尽力の賜物であり、心から感謝申し上げます。また、皆様には、日頃から、統計調査に対する深い御理解と多大な御協力をいただいておりますことに、重ねて、厚くお礼申し上げます。

そして、令和5年春及び秋の叙勲、令和5年春の褒章において受章されました皆様、並びに、本日、表彰を受けられます皆様に、心からお祝いを申し上げます。統計調査員として、統計調査による社会・経済の実態把握に多大な貢献をしてこられました皆様、その長年にわたる御功勞に対し、深く敬意を表するとともに、今後ますますの御活躍を期待申し上げます。

また、統計グラフコンクール受賞者の皆様、誠におめでとうございます。いずれの作品も、独自の視点で物事を観察・調査し、統計グラフに見事にまとめられた素晴らしい作品であります。このたびの受賞を機に、さらに統計に親しみ、新たなテーマの分析に挑戦されることを期待申し上げます。

さて、日本、そして本県を取り巻く環境は、少子高齢化を伴う人口減少や激甚化・頻発化する自然災害、不安定な国際情勢、物価上昇などの多くの課題に直面する一方、デジタル化や脱炭素社会の実現に向けた取組みなどが進展してきております。

こうした課題や環境を的確に把握し、新しい県づくりに向けて適時適切に福祉や経済対策などの施策を展開していくためには、各種統計調査の結果を活用した現状分析や将来予測が不可欠であり、統計調査の重要性はますます高まっていくものと考えております。

県としましては、統計調査の円滑な実施や、調査結果の正確かつ迅速な公表、統計調査を活用した施策展開に努めるとともに、統計グラフコンクールの開催などを通して、県民の皆様に対する統計の役割や重要性についての普及啓発にしっかりと取り組んでまいります。

統計調査員の皆様や市町村の皆様をはじめ、統計調査に関わる全ての皆様と共に力を合わせて取り組んでいく必要がございますので、引き続き御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

結びに、本日御臨席の皆様の益々の御活躍と御多幸を祈念申し上げ、挨拶といたします。

令和5年11月21日

山形県知事 吉村 美栄子